

## 鈴木原子力委員会委員長代理の海外出張報告（中国・北京）

平成 26 年 3 月 13 日

### 1. 目的

2014年3月5日（水）～6日（木）到北京にて開催される「東アジアにおける戦略的核問題についてのワークショップ」と題する国際会議（英国国際戦略研究所(IISS)、中国国際問題研究所(CIIS)共催）に参加し、福島第一原子力発電所事故のエネルギー政策への影響についてのパネルディスカッションに参加すると同時に、米国、中国、韓国などの専門家と意見交換を行う。

### 2. 日程

- 3月4日（火） 成田発 北京着
- 5日（水） 「東アジアにおける戦略的核問題についてのワークショップ」参加
- 6日（木） 同上、北京発 羽田着

### 3. 報告（概要）

- 英国国際戦略研究所(IISS)と中国国際問題研究所(CIIS)の共催による「東アジアにおける戦略的核問題についてのワークショップ」は、両研究機関が4年前から継続しているプロジェクトの一環であり、これまでに英国や中国、ウィーン等でそれぞれワークショップが開催されてきた。今回は5回目にあたり、特に後半で原子力民生利用と核燃料サイクルに焦点が当てられた。日本からの出席者は出張者のみで、韓国、英国、米国からの参加者を加えて約20名によるワークショップであった。なお、ワークショップはチャタム・ハウス・ルールで開催されたため、個人の発言引用はできないが、内容は紹介しても良いこととなっている。
- 最初のセッションは、核保有国である中国・英国・米国のそれぞれの核戦略がテーマであったが、いきなり日本のプルトニウム在庫についての懸念が表明された。これに対し、日本の核物質は全て保障措置を受けていること、毎年管理状況を発表しているなど透明性を確保していること、今回のプルトニウム返還は核脅威削減イニシャティブ(GNTI)の一環であること、などの事実関係が複数の参加者から明らかにされて、その懸念はかなり解消されることとなった。
- 今回のプルトニウム在庫量に対する中国の懸念は、一部の報道に刺激されたものではあるものの、丁寧な説明が不足している点もやはり否定できなかった。一方、英国、米国、韓国の参加者は日本の説明に理解を示すものの、核燃料サイクルの行方、特に六ヶ所再処理工場の動向については、高い関心を示していた。

- 核戦略に続き、核セキュリティについての議論があった。ここでも、再び兵器転用核物質の在庫量削減についての議論が続いた。一部の参加者からは核セキュリティにおいて何らかの国際規制や基準が必要なのではないかと、との意見もあったが、むしろベストプラクティスを共有するほうが、より現実的との意見も出された。次々回の2016年核セキュリティサミット後に、国際社会としてどのように核セキュリティを改善していくかについても今後検討すべき、との意見が出された。日本、中国、韓国で設立された核セキュリティ支援センターについても、3カ国で調整して協力すべきとの意見が出された。
- 次に、福島第一原発事故以降の原子力の安全性と社会受容性について議論があった。ドイツの脱原発は福島第一原発事故が起こる前からの歴史的な流れを理解する必要がある、との指摘がされた。また、福島第一原発事故の影響は韓国、中国においても極めて深刻であり、今後は中国においても新規施設の立地が難しくなるのではないかと、との指摘もされた。
- 2日目は、核燃料サイクルの選択肢についてのパネルから始まり、日本と中国の核燃料サイクルについて発表と議論があった。中国については、高速増殖炉サイクルを目指す従来の核燃料サイクル路線に対し、経済性、核拡散リスクなどの面から代替案を検討すべきとの意見が、中国の参加者からもされたことが注目された。
- 日本については、六ヶ所再処理工場の動向、使用済燃料貯蔵の見通し、在庫量削減（プルサーマル）の見通しなどについて、質問が集中した。プルトニウム及び核燃料サイクル全体の透明性について、さらにわかりやすく全貌を説明する必要があることを改めて認識した。
- また核拡散リスクとの関係では、原子炉級プルトニウムであっても、核爆弾を製造することは可能であるが、より高度な核兵器を製造する場合は、原子炉級プルトニウムでは核実験が必要となる可能性があり、おそらく兵器級プルトニウムをまず使うであろう、との認識が示された。
- 兵器級プルトニウムの米国への返還が報じられたことがきっかけで、日本のプルトニウム在庫量、及び今後の核燃料サイクルの動向への関心が極めて高くなっていた。そういった中で、このようなワークショップできちんと説明する機会があったことは、不幸中の幸いであったと思われる。今後も、日本の核燃料サイクルの動向については、国内のみならず国際的に情報発信・共有を進めていくことが肝要であることを再認識した。